

環境修復事業におけるリスクマネジメントの手法研究

環境修復マネジメント研究小委員会 委員長 下池 季樹

1. テーマの目的

環境修復事業（土壌・地下水汚染の浄化対策事業）の実施においては、様々なリスク発生の可能性について考慮しなければならない。

リスクには対策工法等の技術的な側面や所有者の経営的な側面、また事業にかかわる利害関係者（stakeholder）の合意にかかわる側面がある。利害関係者への説明責任（accountability）は特に重要であり、そのやり方いかんによっては社会的信用を失う可能性がある。そのなかでも近隣住民とのリスクコミュニケーションは最も重要であり住民との合意は事業推進の大きなポイントとなっている。そのため、リスクコミュニケーションをはじめとする様々なリスクを把握して、これをどのようにマネジメントするかは事業を進める上に重要であり、ここに調査研究の必要性がある。

2. 発表内容

発表内容は研究報告書に則り、以下の順で発表する。

1. リスクマネジメントの概念
2. 環境修復事業におけるリスク発生とマネジメント
3. 環境修復事業におけるリスク分析と課題
4. 環境修復事業におけるリスクマネジメント手法の提言
5. まとめ